

SecureDoc Enterprise Server

リリースノート

製品バージョン: 9.0 SR4

2023 年 5 月

(Rev 1.0)

目次

本リリースバージョンについて	2
システム要件	3
KnownConfigs.XML ファイルについて	4
プログラム(プロダクト)名、用語について	5
重要なお知らせ	6
追加されたサポート OS	6
改善された機能	7
SecureDoc Enterprise for Windows	7
特定のハードウェアに関連する対応	8
サポートが必要なお客様	9
ウインマジックの連絡先	9

本リリースバージョンについて

このドキュメントには、本バージョンに関する重要な情報が含まれており、全体を確認されることを強くお勧めします。最新バージョンでは、過去の不具合の修正及び新機能の追加など、製品が強化されています。改善された機能、安定性のための修正プログラム、セキュリティの強化のために、最新のソフトウェアをインストールして、常に最新の状態に維持し利用されることを強くお勧めします。
v9.0 SR1 以降、MagicEndpoint と MagicEndpoint IdP の機能が追加された他、Azure AD をサポートするための重要な機能が組み込まれています。

バージョン	リリース日	EOL	ビルド情報
9.0 SR4	2023 年 5 月 9 日	2026 年 5 月 7 日	Build# 9.0.400.60 Build# 9.0003.103 (macOS)

旧バージョンについて

ウィンマジックは、すべての環境で最新バージョンの利用を推奨しており、アップデートをするようにしてください。

バージョン	リリース日	EOL	ビルド情報
9.0 SR3	2023 年 3 月 2 日	2026 年 3 月 1 日	Build# 9.0.300.118 Build# 9.0003.103 (macOS)
9.0 SR2	2022 年 12 月 9 日	2025 年 12 月 8 日	Build# 9.0.200.207 Build# 9.0002.198 (macOS)
9.0 HF1	2022 年 9 月 7 日	2025 年 3 月 30 日	Build# 9.0.001.1053 (Windows クライアントのみ)
9.0 SR1	2022 年 7 月 21 日	2025 年 7 月 21 日	Build# 9.0.100.149 Build# 9.0001.73 (macOS)
9.0	2022 年 3 月 31 日	2025 年 3 月 30 日	Build# 9.0.000.1047 Build# 9.000.1030 (macOS)
8.6 SR1	2021 年 9 月 8 日	2024 年 9 月 7 日	Build# 8.6.100.148 Build# 8.6001.85 (macOS)
8.6	2020 年 12 月 8 日	2023 年 12 月 7 日	Build# 8.6.100.148 Build# 8.6000.594 (macOS)
8.5 SR2	2020 年 6 月 11 日	2023 年 6 月 10 日	Build# 8.5.200.688 Build# 8.5001.632 (macOS)

注 Hotfix のライフサイクル終了日は、そのベースとなるバージョンまたはサービスリリースと同じです。

※ 旧バージョンのリリースノートは、以下のサイトでご確認ください。

<https://www.winmagic.com/jp/support/jp-release-notes>

システム要件

SecureDoc Enterprise Server 及び SecureDoc クライアントのシステム要件:

<https://winmagic.com/ja/data-security-support-jp/system-requirements/>

デバイスの互換性:

<https://winmagic.com/en/data-security-support/device-compatibility/>

- 注** SES の DB 作成に必要な SQL のインストールでは、「機能の選択」で、「フルテキストインデックス作成機能（フルテキスト検索機能）」をデータベースエンジンにインストールしておく必要があります。
フルテキストインデックス作成機能については、マイクロソフトのサイトで、ご確認ください：
<http://msdn.microsoft.com/ja-JP/jp/library/ms143786%28v=sql.100%29.ASPX>
フルテキストインデックス作成機能がインストールされていない場合、SES のインストール中にインストールされていないことを示すメッセージが表示されますが、SES のインストールを中止することはできません。
インストールされていない場合、SQL Server にフルテキストインデックス作成機能を組み込む必要があります。
- 注** SES コンソールの機能を適切に使用するためには、SES コンソールが稼働しているサーバーやクライアントデバイス（管理用デスクトップマシンなど）において、ユーザーが少なくともローカルの管理者権限を持っている必要があります。Active Directory の OU をインポートする場合、ドメインにログインするアカウントは管理者権限である必要があります。
- 注** Bluetooth 接続のスマートフォン（モバイルトークンベース）を利用する認証は、Windows 10 または Windows11 のみのサポートです。
- 注** MagicEndpoint を利用する場合、MagicEndpoint をインストールする前に、SecureDoc クライアントソフトウェアをインストールし、デバイスを SecureDoc Enterprise Server (SES) に登録する必要があります。
- 注** MagicEndpoint を利用するデバイスでは **TPM 2.0** が必要です。
- 注** Azure Active Directory (Azure AD) の使用を希望するお客様は、v9.0 以降 にアップグレードする必要があります。
旧バージョンの SES では Azure AD はサポートされません。
旧バージョンの SecureDoc クライアントのデバイスは、AzureAD に参加させる前に、v9.0 以降にアップグレードする必要があります。

Bluetooth (Bluetooth Low Energy) 接続のスマートフォン（モバイルトークンベース）をプリブート認証で利用したいお客様へ

- ・ Windows 10 または Windows11 のみのサポートです。
- ・ プリブート認証プログラムは PBLU を選択してください。PBU では利用できません。
- ・ コンピュータのハードウェア構成 (BIOS または UEFI 設定) で Bluetooth を有効にしてください。

KnownConfigs.XML ファイルについて

Windows デバイスへのSecureDoc のインストールで、個別の設定が必要なデバイスについて情報が得られると、ウィンマジックは、そのデバイスに必要な設定内容をKnownConfigs.XML ファイルに追記します。

通常、SES で作成したWindows デバイス向けSecureDoc クライアントのインストールパッケージには、KnownConfigs.XML が含まれています。クライアントへのインストール時にインストーラーがデバイスを検知し、KnownConfigs.XML 内にそのデバイスを見つけた場合、記述されている設定内容に従ったインストールを自動でおこないます。

KnownConfigs.XML によって、特定のデバイスにおける既知情報の知識を必要とせず、インストール時における問題を回避することができます。

※ 最新のKnownConfigs.XML ファイルについては、製品をご購入いただきました販売代理店へお問合せください。

KnownConfigs.XML ファイルの変更方法：

1. Windows Explorer から c:\Program Files(x86)\WinMagic\SDDB-NT に移動します。
2. 次に、*.xml のように XML ファイルを検索します。
3. 検索結果リストを名前別にソートします。
4. KnownConfigs.XML ファイルが見つかった各ディレクトリについて、最新の KnownConfigs.XML と置き換えます。

注 KnownConfigs.XML ファイルは、ウィンマジックのみがその開発および機能強化する権利を保持しています。お客様による KnownConfigs.XML ファイルの変更に起因するサポートを要求される場合、ウィンマジック独自の裁量で追加のサポート費用を請求することがあります。

ウィンマジックは、KnownConfigs.XML を拡張および向上する方法についてのお客様からのアイデアや提案を歓迎していますが、ウィンマジックは、多くのお客様にとって利益になると考えられる KnownConfigs.XML に対する変更、テスト、承認、および公表する唯一の権利を保持します。

プログラム(プロダクト)名、用語について

プログラム名

- SES** ... SecureDoc Enterprise Server の略称、SecureDoc クライアントを管理します。
SESWeb ... SecureDoc Enterprise Server Web コンソール(SDWebと記載している場合があります)
SDConnex ... クライアントとの通信をおこなう通信プログラム

機能名

- PBA** (Pre-boot Authentication) ... プリブート認証 (OS 起動前の認証)
RME (Removable Media Encryption) ... リムーバブルメディア暗号
RMCE (Removable Media Container Encryption) ... リムーバブルメディアコンテナ暗号
SFE (SecureDoc File Encryption) ... SecureDoc ファイル暗号
DAC (Disk Access Control) ... ディスクアクセスコントロール
Port Control ... ポートコントロール

Windows デバイスのプリブート認証(PBA)プログラムについて

- PBL** (Pre-boot for Legacy) ... Legacy デバイス向け、PBA プログラム
PBU (Pre-boot for UEFI) ... UEFI デバイス向け、デフォルトの PBA プログラム
PBLU (Pre-boot for Linux UEFI) ... UEFI デバイス向け、Linux ベースの PBA プログラム

Windows サインインの認証方法について

- SDCP** (SecureDoc Credential Provider) ... サインインに SecureDoc Credential Provider を利用

プリブートネットワーク認証について

- PBN** (Pre Boot Network) ... プリブート認証で、ネットワークを利用すること
PBNA (Pre Boot Network Authentication) ... プリブート時に、SDConnex と接続しネットワーク認証する
PBConnex ... SDConnex を使用して、ネットワーク認証をおこなう機能

BitLocker 管理について

- SDBM** (SecureDoc for Bitlocker Managment) ... BitLocker 標準機能のプリブートを使用し、SES で管理する
SDBL (SecureDoc for BitLocker) ... BitLocker 向け SecureDoc のプリブート認証プログラム
SDOT BL (SecureDoc on top for BitLocker)

File Vault2 管理について

- SDFV2** (SecureDoc for FileVault2) ... FileVault2 の暗号化・管理を SES でサポートするプログラム

Linux 管理について

- SDLinux** (SecureDoc for Linux) ... Linux の暗号化・管理を SES でサポートするプログラム

その他

- SDOSA** (SecureDoc for OSA) ... OSA (Operating System Agnostic)
 TCG Opal ディスク用のプリブートプログラム
 オペレーティングシステムを選びません。
MagicEndpoint ... FIDO2 や多要素認証に対応した認証アプリケーション

※ 以降、SecureDoc を【SD】、MagicEndpoint を【ME】と表記している場合があります。

重要なお知らせ

リファレンス	説 明
SD-43817	SecureDoc Essentials for Windows の廃止 SecureDoc Essentials for Windows は、SecureDoc Enterprise for Windows クライアントのスリム化されたバージョンであり、BitLocker 暗号化の管理及び、いくつかの主要な SecureDoc 機能を備えていました。 このタイプのクライアントが市場に受け入れられていないため、製品の提供を合理化するために廃止することになりました。

追加されたサポート OS

リファレンス	説 明
SD-44378 SD-44822	【SDLinux】Ubuntu 20.04 のサポート

改善された機能

SecureDoc Enterprise for Windows

リファレンス	説 明
SD-44068	【PBA】最後にログインしたユーザー名が表示される問題 v9.0 SR2 より、プリブート認証画面で最後にログインしたユーザー名が表示されるようになっていました。 v9.0 SR4 では、ユーザー名のフィールドはデフォルトで空白になります。 最後にログインしたユーザー名を表示したい場合、デバイスプロファイルの SDSpace セクションに、以下の内容を手動で追加してください。 [SDSpace] PrebootLastUserEnabled=1
SD-44230	【SD】Windows のレジストリ設定によって、ネットワークが利用できなくなる SecureDoc をインストールすると、SDPswdSynchronizer 定義を Order に追加します。 HKEY_LOCAL_MACHINE\SYSTEM\CurrentControlSet\Control\NetworkProvider\ 次に、内容全体を HwOrder にコピーします。Order が欠落している場合は、Order が作成されて SDPswdSynchronizer が追加されます。 Windows の再起動時に、Order サブ要素を使用して HwOrder が置き換えると、その中に存在していたすべてのネットワーク構成が消去されます。 Order サブ要素が存在しないのは異常であり、特定のデバイスにのみ影響する問題で、通常はネットワークが利用できなくなる事象は発生しません。 この問題は、本バージョンで修正済です。
SD-44503	【PBLU】タッチパッドを利用できない v9.0 SR3 以前のバージョンではタッチパッドが動作していたデバイスで、v9.0 SR3 では、タッチパッドが動作しない問題がありました。 影響を受けたデバイスの正確なブランドとモデルは「DELL Latitude 7320 Detachable」でしたが、他のデバイス タイプにも影響を与えた可能性があります。 この問題は、本バージョンで修正済です。
SD-44523	【PBU】Token に保存したオートブートキーファイルが利用できない この問題は、本バージョンで修正済です。

特定のハードウェアに関連する対応

リファレンス	説 明
SD-41938	HP ProBook 450 G8 内容: 次の Wi-Fi NIC が搭載されている場合、プリブートネットワーク認証を利用できない。 Intel(R) Wireless-AC 9560 160MHz, REV=0x354 上記の問題は、本バージョンで対応済です。 プロファイル設定で、ブートパラメータに次の設定してください。 「Boot configuration」->「Advanced Options」->「Boot Parameters」 iwlwifi.ucode_api_max=50
SD-44244 SD-44246 SD-44250	【PBLU】Yubikey の証明書を利用したトークン キー ファイル保護をサポート PBLU は、Yubikey 256 ビット ECC 証明書をサポートするようになりました。 YubiKey の 256 ビット ECC 証明書の有効期限が切れると、ブート ログオン時に検証チェックを実行し、システムへの認証を停止します。
SD-44585	Lenovo ThinkPad T14 Gen 3 内容: Wi-Fi 接続によるプリブートネットワーク認証を利用できない。 上記の問題は、本バージョンで対応済です。

サポートが必要なお客様

弊社製品をご購入いただきました販売代理店によって、問い合わせ窓口が異なります。
サポートが必要なお客様は、製品をご購入いただきました販売代理店にて承ります。
既に SecureDoc をご利用いただいております、アップグレードに関するサポートが必要なお客様も、製品をご購入いただきました販売代理店にて承ります。

ウィンマジックの連絡先

ウィンマジック・ジャパン株式会社

〒105-0022

東京都港区海岸 1-2-3

汐留芝離宮ビルディング 21 階

電話番号: 03-5403-6950

営業担当者へのお問い合わせ: sales.jp@winmagic.com

テクニカルサポート: support.jp@winmagic.com

謝辞

本製品では、Antoon Bosselaers、Hans Dobbertin、Bart Preneel、Eric Young (eay@mincom.oz.au)、そして Rijndael AES アルゴリズムの開発者である Joan Daemen および Vincent Rijmen によって開発された暗号化ソフトウェアが使用されています。

「本製品では、OpenSSL Toolkit での使用を目的として、OpenSSL Project (<http://www.OpenSSL.org/>) によって開発されたソフトウェアが使用されています。」

ウィンマジックは、このプロジェクトの開発者によるソフトウェアの提供に対して、ここに感謝の意を表します。

©Copyright 1997 - 2023 by WinMagic Corp. All rights reserved.

Printed in Canada

カナダおよび米国では、多くの製品、ソフトウェアおよびテクノロジーが輸出規制の対象となっています。

ウィンマジックの製品の場合、お客様ご自身でこれらの規制の詳細を理解して戴く必要があります。

ウィンマジック製品の輸出と再輸出は、カナダ国境サービス庁 (CBSA) と、アメリカ合衆国商務省産業安全保障局 (BIS) のそれぞれが管理する、カナダおよびアメリカ合衆国の法律の規制を受ける場合があります。

より詳しい情報は、ウィンマジックの Web サイトまたは関係省庁の Web サイトで、ご確認ください。

WinMagic、SecureDoc、SecureDoc Enterprise Server、Compartmental SecureDoc、SecureDoc PDA、SecureDoc Personal Edition、SecureDoc RME、SecureDoc Removable Media Encryption、SecureDoc Media Viewer、SecureDoc Express、SecureDoc for Mac、MySecureDoc、MySecureDoc Personal Edition Plus、MySecureDoc Media、PBConnex、SecureDoc Central Database および SecureDoc Cloud Lite は、米国およびその他の国における WinMagic Corp. の商標です。

本文中のその他の社名、製品名等は、各社の商標、または登録商標です。

© 2023 WinMagic Corp. All rights reserved.

このドキュメントは、情報提供のみを目的としています。

ウィンマジックは、明示的にも暗黙的にも、このドキュメントについて保証を一切しません。

ここに記載されているすべての仕様は、予告なしに変更されることがあります。